

# ピンクリボンNEWS japan

2017年度  
春号  
Vol.6 No.1

発行人 認定NPO法人 J.POSH

編集 ピンクリボンNEWSjapan 編集委員会

発行所 J.POSH事務局〒538-0043 大阪市鶴見区今津南2丁目6番3号 TEL.06-6962-5071

**J.POSH**  
日本乳がんピンクリボン運動®

## TOPICS

### 病理医と乳がん

川崎医科大学

附属病院病院病理部 部長 もりや 森谷 卓也  
現代医学教育博物館 副館長

皆さん、こんにちは。今回は病理の立場から、乳がんについて述べさせていただきます。おそらく、多くの皆さんは「組織型」「グレード」「ER、PgR」「HER2」「Ki-67」などの話をお聞きになられたことがあると思います。今回はそのような医学的な解説ではなく、病理の検査と、病理の医者のお話です。



病理医の資格は、外科、放射線科、精神科、等と同じように医師の専門家として認められています。医師になってから一定の研修を行って、専門医試験に合格して病理専門医として認められるのも、他の科と同じです。しかし、決定的に違うのは、病理医は患者さんと直接お話をする機会がほとんどない事です。私自身も、患者会や、本号の他のところで述べさせていただく博物館の仕事で皆さんとお話する機会がありますが、普段の仕事(本業と申しますか、、、)では患者さんのお名前は知っていても、お目にかかる事がございませんので、顔は全く存じ上げません。

病理医は、患者さんの細胞や組織を顕微鏡で見せていただくのが主な仕事です。乳がんであれば、がん細胞を見つけてその患者さんが「がん」であることを主治医に伝えます。顕微鏡標本は臨床検査技

師さんが作ってくれます。彼らの中には「細胞検査士」の資格を取って、細胞診検査で病理医と一緒にがん細胞を探す仕事をされている方もいます。技師さんの力も、病理検査にとってはとても重要です。

乳がんの「組織型」「グレード」「ER、PgR」「HER2」の状態は、患者さんごとにさまざまです。10人の患者さんがおられれば、10通りの乳がん細胞の形があると申しても言い過ぎではないと思います。毎日顕微鏡を覗いてみますと、患者さんの顔は知らなくても、細胞を見ると、「ああ、あの方だ」と思うことは決して少なくありません。

私たちに求められるのは「正確な診断」です。具体的には、乳がんであることの確定、がん細胞の性質を見極めること、手術でがん組織が十分切除されたか確認すること、くすりや放射線治療の効果が得られているか調べること、などがあります。内容は、医学の進歩によっても変わってゆきます。例えば、乳房部分切除術が行われるようになってからは、切除したところのがんが残っていないか手術中に迅速検査を行うようになりましたし、センチネルリンパ節検査も導入されました。「ER、PgR」「HER2」などの検査結果は、術後に投与するくすりの種類を決めるための資料として、とても重要です。このような検査結果を、主治医の先生から患者さんに伝えていただくことによって、おひとりおひとりに最も適切な、なおかつ納得していただける治療を受けていただくことが私たちの使命であり、願いでもあります。

最近、病理医の中には「病理外来」を設けて、その病院で手術を受けられた患者さんで希望される方に病理検査結果の説明をする方も出てきました。実施している施設はまだ少数ですが、そのような取り組みが行われてることを知っておかれるのも良いかもしれません。

## オ フィシャルサポーター活動のご紹介

### 日産プリンス山梨販売株式会社

<http://www.nissan-prince-yamanashi.co.jp/>

日産プリンス山梨販売株式会社(甲府市、野田文久社長)は、J.POSHのオフィシャルサポーターとして長年にわたり啓発グッズを購入して頂いています。グッズは顧客への頒布品として配布し、広く乳がんの啓発活動を展開されています。



野田文久 代表取締役社長(左)と  
富谷恵美 営業支援部業務課課長(右)

同社がピンクリボン活動を始めたきっかけは「日産サテリオ千葉の松岡社長からピンクリボンの活動を教えて頂いた」(野田社長)こと。「何か社会貢献活動をと考えていたところだったので、即、J.POSHのサポーターに登録しました」(同)。

購入したグッズの利用法は、「新車をご購入頂いたお客様にJ.POSHのハンドタオルと、会社と社員会連名のご挨拶状を添えて差し上げています」(富谷恵美 営業支援部業務課 課長)。淡いピンク色の挨拶状には「弊社は乳がん啓発運動を展開するNPO法人J.POSHにオフィシャルサポーターとして登録し、ピンクリボン活動に取り組んでいます」という文言が書き込まれています。この地道な啓発活動の成果もあってか、2013年山梨県は乳がん検診受診率全国1位となりました。この「全国1位」が続くことを願って、今後とも乳がん検診の大切さを訴える活動に取り組んで頂けるようです。

### 株式会社エーズ・インターナショナル

[www.e-s.co.jp/](http://www.e-s.co.jp/)

株式会社エーズインターナショナル(大阪市、宮本洋子代表取締役)は、エステティックサロンの運営、美容機器・化粧品・健康食品販売などを展開しています。「新幹線のぞみが止まる駅全てに拠点を作る」(古澤清貴取締役サポート事業部本部長)を目標に、事業の拡大を図っておられます。180人の従業員のうち男性は3人のみという職場環境だけに、女性従業員のピンクリボン運動への意識は高い。オフィシャルサポーターとして長年にわたり寄付金を寄せて頂いていますが、そのきっかけはミラクルクレンジング(化粧落とし)の通販販売を開始した際に「女性の美を追求する企業として、何か社会貢献できることはないかと模索している中

でJ.POSHさんのオフィシャルサポーターに参画することを決めました。寄付の金額は、通販のミラクルクレンジングの売上に準じて算出しています」(同)。同社は現在、「すべての女性が気軽に利用できる本格的エステ」をモットーに拡大中です。また、一部店舗では男性向けのエステも開始しました。梅田本店、心斎橋OPA店、グランツリー武蔵小杉店の3ヶ店でメンズエステも受けることができます。



古澤清貴 取締役サポート事業部本部長

## オ フィシャルサポーター活動のご紹介

### 株式会社くわこや パルファン

<http://www.kuwakoya.com/>

(株)くわこや(愛知県西尾市、野村和弘社長)は、愛知県内を中心に東海エリアで17店舗(店名:パルファン)を展開する化粧品・化粧雑貨の小



野村和弘  
代表取締役社長

売販売業。社会貢献活動の一環として始めたJ.P.O.S.H.のオフィシャルサポーター歴は長い。同社はJ.P.O.S.H.の奨学金である「まなび」(乳がんで闘病中または死亡された保護者を持つ高校生に対し、返済不要の奨学金を支給)への寄付を重点にした支援を継続して頂いています。「お客様がパルファンの店頭で1回買い物をして頂くごとに1円(1回のレジで1円)をカウントし、そのトータル金額を毎月

J.P.O.S.H.さんに振り込みさせて頂いています。ピンクリボン運動は単発的な活動でなく、継続していくことが大切です。女性のライフスタイルを豊かにするためにも、当社は今後もピンクリボン活動を続けていきます」(近藤博司常務執行役員)。同社の「まなび」への寄付金の合計額は460万円にも上ります(2017年1月末現在)。全店の店頭でPOPを掲示するなどピンクリボン活動を実施していることをアピールし、同運動への顧客の参画意識の高まりも期待しておられます。

全スタッフ190人のうち97%が女性という同社。「女性の多い会社だけに乳がんや子宮頸がんなどといった女性特有の病気に対する意識は高く、会社とし



近藤博司  
常務執行役員

てもまずは社員が健康であって欲しいと願っています」(野村和弘社長)とし、各検診を受けたスタッフの検診費用は全額会社が負担しておられます。

## 患者会「お喋り」で患者力アップ!!!

大阪府在住 個人サポーター 上埜 敦子  
(乳がん術後14年)

癌の難儀は、再発への『不安』をもち続けることだと思います。近頃は、患者中心の医療! 患者の望む治療を!! と云われていますが~『不安』だけで診察室に日参することはできません。“治療の中心の患者”として何をすればいいのでしょうか?

患者会活動を通し思うことは、病気に囚われ過ぎず!に、癌患者であることを考える。自分は何を望むのか?を考えておくことが大事だと思います。患者同士の「お喋り」では自然に癌の日常を話すことが出来ます。投薬中の不調についても「一緒よ!分かるわ!」の一言が『安心』を生みます。『不

安』を持つ患者同士の「お喋り」は、生きてる幸せもたくさん話します。『元気に過ごす毎日に感謝やね』です。

そんな中で、「自分の『望み』は何か?」を見つけることも出来ると思います。『怖い』再発の不安にくじけない“力=心”を一緒に作りあえると信じています。

患者会「お喋り」に参加してみてください。患者同士の「お喋り」を 楽しみ パワーアップしてください。

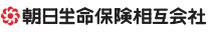
患者会「お喋り」に参加してみてください。患者同士の「お喋り」を 楽しみ パワーアップしてください。

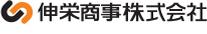


旅行が大好きな上埜さん

## J.POSHオフィシャルサポーター

認定NPO法人 J.POSH (日本乳がんピンクリボン運動)を通じてピンクリボン運動をご支援いただいている企業・法人・など各種団体の一覧です。

 <p>東京海上日動 あんしん生命</p>	 <p>YOGA WORKS こちいいヨガ、こころから。</p> <p>有限会社ヨガワークス</p>	 <p>Fra<sup>u</sup> International</p> <p>株式会社フラウ・インターナショナル</p>	 <p>Diana プロポーショナルづくりのダイアナ</p>	 <p>ベルーガクリニック BELLUGA CLINIC</p>
 <p>JRM JAPAN RISK MANAGEMENT</p> <p>ジャパリススクマネジメント株式会社</p>	 <p>コース保険センター 株式会社 あおり協同サービス</p>	 <p>M+TC Mammoplus TAKEO CLINIC</p> <p>医療法人健優会 マンモプラス竹尾クリニック</p>	 <p>医療法人医誠会</p>	 <p>Bayer HealthCare</p> <p>バイエル薬品株式会社</p>
<p>日産プリンス 山梨販売株式会社</p>	 <p>JA三井リース</p>	 <p>DHC</p> <p>株式会社ディーエイチシー</p>	 <p>スルガ銀行</p>	 <p>TOMBOW 株式会社 トンボ</p>
 <p>TAKAZONO 株式会社 タカゾノ</p>	 <p>NISSAN Red Stage 日産プリンス茨城 株式会社 あおり協同サービス <a href="http://www.prince-ibaraki.jp/">http://www.prince-ibaraki.jp/</a></p>	 <p>NATURAL WIG Chapter4 シヤポード</p>	 <p>Benefit Station</p> <p>株式会社ベネフィット・ワン</p>	<p>ノイエス株式会社</p>
<p>銀座クレア化粧品 GINZA CLEF</p>	 <p>イルスメディカ名古屋</p>	 <p>SOLUTION for your life... for your business... 株式会社オフィストゥワン</p>	<p>人も地球も健康に Yakult</p> <p>株式会社ヤクルト本社</p>	 <p>TOKYO SOIR 東京ソワール</p>
 <p>生活楽園いらいらいっばい 高木金鳳工業株式会社</p>	 <p>中部鋼料株式会社 CHUBU SHIRYO CO., LTD.</p>	<p>世界長ユニオン株式会社</p>	 <p>J.FERRY PRODUCED BY RIFACTORY CO.,LTD</p> <p>株式会社リファクトリ</p>	 <p>朝日生命保険相互会社</p>
<p>有限会社 コープサービスしこく</p>	 <p>品川美容外科</p>	 <p>SUNTORY SUNTORY FLOWERS LIMITED サントリーフローズ株式会社</p>	<p>社会医療法人財団 池友会 福岡和白総合健診クリニック</p>	<p>これまでも、そしてこれからも愛心の輝きを続ける。 株式会社 アキヲ</p>
 <p>京都奉製株式会社</p>	 <p>3A-life スリーエー・ライフ株式会社</p> <p>スリーエー・ライフ株式会社</p>	 <p>Luna 日本ルナ株式会社</p>	<p>株式会社エクセルワールド</p>	 <p>JFR CARD JFR GROUP</p> <p>JFRカード株式会社</p>
<p>日産プリンス 札幌販売株式会社</p>	 <p>空気を洗う壁紙。 ルノン株式会社</p>	 <p>サカタのタネ</p>	 <p>リそな銀行 RESONA</p>	 <p>アイアイショップ 株式会社 アイアイ</p>
 <p>E/s for life 株式会社 イーズ・インターナショナル</p>	 <p>Kelly Hearts 株式会社 ケリーハーツ</p>	<p>株式会社ピュア・メディカル</p>	<p>株式会社 コープネット保険センター</p>	 <p>JML 中日本メディカルソフク株式会社</p>
 <p>hugge bridal sweet and luxuly bridal inner</p> <p>株式会社ローズ・サプライ</p>	 <p>かわこや</p> <p>株式会社かわこや</p>	 <p>赤池クリニック akaiké clinic</p>	 <p>JAPACK's</p> <p>株式会社ジャパックス</p>	 <p>fit me フエー株式会社</p>
<p>株式会社シールズ</p>	 <p>Guest House Wedding THE HOUSE AINO ザ・ハウス愛野</p>	 <p>T-PEC</p> <p>ティーベック株式会社</p>	<p>ATELIER BEAU LTD</p> <p>アトリエボー株式会社</p>	 <p>RITSUBI LEADING BEAUTY INNOVATION</p> <p>株式会社リツビ</p>

<p>J.POSH オフィシャルサポーター</p>	 <p>大木産業株式会社</p>	 <p>株式会社アイ・ディ・アクセス</p>	<p>ローヤル化工株式会社</p>	 <p>アイビーメディカル株式会社</p>
 <p>雪印ビーンスターク株式会社</p>	<p>兵庫日産自動車株式会社</p>	 <p>ウィッグ・かつら専門店 コヰ</p>	 <p>ほけんのぜんぶ</p>	<p>日本のゴミは(不用品等)世界の宝!</p>  <p>日本リユースシステム株式会社</p>
<p>snovə</p> <p>株式会社スノーヴァ</p>	 <p>RHYTHM リズム株式会社</p>	 <p>YONESAKA ESTHETIC GROUP 米坂エステティックグループ</p>	 <p>新潟日産モーター株式会社</p>	 <p>株式会社ビークルーズ</p>
 <p>株式会社橋本商会</p>	 <p>HEAVEN Japan 株式会社 HEAVENプランニング</p>	 <p>美彩 BISAI 株式会社美彩</p>	 <p>MAVERICK CO., LTD. 株式会社 マーベリック</p>	 <p>ディスカウントドラッグ ゲンキー GENKY ゲンキー株式会社</p>
 <p>株式会社神戸酒心館</p>	 <p>Dione ドクターサポート株式会社</p>	 <p>Luna Luna ルナルナ Women's medical side 株式会社エムティーアイ ルナルナ事業部</p>	<p>明日をもっと、こころよく</p>  <p>GUNZE グンゼ株式会社</p>	 <p>CREATE ION® 株式会社クレイツ</p>
 <p>FORMAL KLEIN フォーマルクライン 株式会社フォーマルクライン</p>	 <p>THE WORLD THE WORLD株式会社</p>	 <p>司観光開発株式会社</p>	<p>日本ライフ製薬</p>	 <p>calmic a service from Rentokil Initial 日本カルミック株式会社</p>
 <p>ミドリ安全株式会社</p>	 <p>日本製紙株式会社</p>	 <p>伸栄商事株式会社</p>	 <p>TSUNO 築野食品工業株式会社</p>	 <p>名古屋銀行 BANK OF NAGOYA</p>
 <p>UCS 株式会社UCS</p>	 <p>ADVANCE 株式会社日成アドバンス</p>	 <p>chez moi 株式会社シェモア</p>	 <p>KURABO 倉敷紡績株式会社</p>	<p>一おかげさまで創業50周年— 鈴木自動車株式会社</p>
 <p>Mylan Seeing is believing マイランEPD合同会社</p>	 <p>KOSHIN 高信化学株式会社</p>	 <p>First Friends.inc meninajoue 株式会社ファーストフレンズ</p>	 <p>TESCOM 株式会社テスコム</p>	<p>日本生活協同組合連合会</p>
<p>医療ビジネス専門学校</p>				

## J.POSHオフィシャルパートナー

認定NPO法人 J.POSH (日本乳がんピンクリボン運動)を通じてピンクリボン運動をご支援いただいている  
営利を目的としない患者会・協会・組合・などの各種団体の一覧です。

乳がん患者会「関西ひまわりの会」

<p>肥後ほほえみの会</p>	 <p>神神温泉郷 ONODA ONSEN ONODA ONSEN ONODA ONSEN</p>	<p>藤沢ラグビー蹴球倶楽部</p>	 <p>JKK 女性経営者の会 全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会 女性経営者の会</p>	 <p>Kyoto Kummu Lions Club 京都薫風ライオンズクラブ</p>
<p>一般社団法人 FlowerBeautyLife協会</p>	<p>塩原温泉旅館協同組合 女将の会</p>	 <p>JGA Japan Gilt-dress Association established 2012 一般社団法人日本グルーデコ協会</p>	 <p>一般社団法人日本美姿勢協会</p>	 <p>FC OSAKA FC OSAKA</p>

## ✕ デイカル・ミュージアムって??

川崎医科大学

附属病院病理部 部長 もりや  
現代医学教育博物館 副館長 **森谷 卓也**

皆さんは、美術館や博物館に行かれることがあ  
ると思います。日本には数多くの施設がありますが、  
健康や医学に関することを中心に展示している博物  
館をご存知でしょうか？

私が勤務している川崎医科大学(川崎医大：岡  
山県倉敷市)には、現代医学教育博物館(通称メデ  
ィカルミュージアム：略してMMエムエム)があります。  
この博物館は大学創立10周年の1981(昭和56)年  
に設立され、今年で36年目になります。5階建ての、  
レンガ造りの立派な建物です(立派すぎて気軽に入  
りにくいというのを聞いたこともあります)。



現代医学教育博物館外観

川崎医大は、外科医である川崎祐宣(すけのぶ)  
先生が「良医を育成する」ことを目的に造られた大  
学です。川崎先生は大学を建てる前に世界中を視  
察したところ、海外には医学・健康の博物館がたく  
さんあることに気づかれました。そこで、市民の皆  
さんに、それらのことを知っていただくための博物  
館を建てることを思い立ったそうです。

5階建ての博物館の2階が「健康教育博物館」です。  
入場無料、予約不要(団体は事前に予約が必要)で、月  
曜日から金曜日は9-17時、土曜日と日曜日は9-16時が開  
館時間です。臨時休館する場合にはホームページでお  
知らせしていますが、電話によるお問い合わせ(086-42-  
1111)もお受けしています。年間約8,000人の来館があ  
り、団体見学は小学生から大人まで100回以上です。ご  
要望があれば30分程度の講話や、ワークシートを使っ

て問題を解きながらの見学(スタンプラリーのような感  
じ)も可能です。また、夏には2日間で450人以上の親子  
をお迎えする「かわさき夏の子ども体験教室」(事前申  
し込みによる抽選：詳しくはホームページ <http://www.kawasaki-m.ac.jp/> をご覧ください)を実施しています。



健康教育博物館の展示物

現在は「からだのしくみ」、「病気の予防」、「現代の  
病気」のコーナーなどがあります。パネルによる説明だ  
けではなく、模型、タッチパネル、クイズ形式のコーナー  
などがあり、見るだけでなく触れたり、ゲーム感覚で  
楽しく学んでいただけるよう工夫しています。その時期  
に話題となったことからも、なるべく早めに展示する  
ように心がけています。展示物のほとんどが12人の専任  
スタッフによる手作りですが、医学部の博物館ですので、  
医学的に正しいことを知っていただくことができます。

乳がんについては、自己検診の仕方の解説や、触  
診模型(がんのしこりと、良性のしこりが埋め込んで  
あります)と、乳がん全体の説明を記載したコーナー  
を設けています。倉敷は観光地ですので、お越しに  
なれた時にぜひお立ち寄りください。



乳がん自己検診パネルと触診模型、乳がん説明パネル

## 2 017年度「J.POSH奨学金 まなび」奨学生の募集開始

J. POSHでは、「J. POSH奨学金 まなび」を2008年に設立しました。この奨学金は、保護者が乳がんで死亡もしくは、闘病中で奨学が困難な高校生を対象に、年間12万円(無返済)を支給するものです。

2016年度は本地震の影響があり、熊本県からの申請がありませんでしたので、10月に2次募集を行い合計49名の皆様に支給しました。

本年も4月1日～5月31日の期間で募集いたします。

※詳細はJ.POSHのホームページ「J.POSH奨学金まなび」2017年度募集要領を参照して下さい。

### 「J.POSH奨学金まなび」卒業生の声(抜粋)

#### 愛知県 Mさん

母の収入だけで生活していた私と弟にとって母の乳がんが発覚した時には今後の生活はどうなってしまうのだろうと思っていましたが、この奨学金を頂けることになって、不安が少し減りました。学校を止めなくてはいけないのか本気で悩んでいたのが、卒業できることに本当に感謝しております。母も手術後無事に仕事に復帰することができ、ぎりぎりではありますが、以前の生活をおくることができます。母の病気をきっかけに私は、看護師になりたいと思ひ看護の勉強ができる大学に進学します。各種奨学金をいただきながら勉学に励みたいと思っています。この奨学金を頂けたことに感謝し、無駄にすることのないような生活をおくっていきたいです。

#### 宮崎県 Mさんのお母さん

申しわけありません。息子には麻痺が残っており文字がうまく書けません。乳がんになり会社を辞めざるをえなくなったときに、息子の担任の先生よりこの奨学金の教えていただいてお世話になりました。支援学校ですので、高い学費ではありませんが、修学旅行と寮費などに使わせていただきました。最近私の体力も戻ってきて就業も可能になっています。これから、誰か乳がんで苦しんでおられる方の手助けが、どこかでできればと思っています。本当にありがとうございました。

### — J.POSH奨学金給付選考委員会からのお願い —

現在「J.POSH奨学金まなび基金」だけでは、奨学金を支給できず、ピンクリボン基金から補填して支給しております。次年度以降もさらに多くの高校生を支援できるようにしたいと考えています。我々の主旨にご賛同いただけましたら、基金へのご寄附をお願いいたします。

#### 銀行口座

口座名：J.POSH奨学金まなび

特定非営利活動法人J.POSH 理事 田中完児

ジイ体°ツェシヨウガ°ケンマビ°

トケ化イリカド°ウタンタイ ジイ体°ツェシ リジ° タカカンジ°

銀行名：三菱東京UFJ銀行 大阪営業部

口座番号：普通 3839367

#### 郵便振替

口座名：J.POSH奨学金まなび

口座番号：00980-8-145817

#### クレジットカード

J.POSHホームページからお願いします。

<http://www.j-posh.com/about/fund/manabi/>

# 新リーフレットを作成しました。

自己検診を進めることを目的として、マンマチェックリーフレットを提供していましたが、乳がんの知識も盛り込んだ新リーフレットを作成しました。今後は、このリーフレットを提供していきます。ご希望の方は、メールまたはFAXでお申し込み下さい。

■ 50部まで：送料とも無償  
 ■ 50部以上：20円/部と送料200円/回

Eメール：info@j-posh.com  
 FAX：06-6962-0065



中面:乳がん自己検診マンマチェック



←リーフレット表紙

中面:乳がんについて(Q&A)



サイズ:A4三折り(折寸法210mm×100mm) ※画像のリーフレットは制作中のイメージです

## PRNj 春号あとがき

先号(2016年度冬号)掲載の『乳がん診療の15年』を興味深く拝読いたしました。日本医科大学武蔵小杉病院乳腺外科の蒔田益次郎先生が、15周年を迎えたJ.P.O.S.Hが発足した2001年と現在の『乳がん診療』を比較し寄稿して頂いたもので、検査技術、薬物療法、手術の各変遷を振り返り、その進歩を指摘されています。話は変わりますが、たまたま、わが本棚で『西暦2000年そのとき日本は』(講談社、山本七平・柳田邦男編)という古い本を見つけました。1984年3月発刊のこの本は、その時点では16年後の未来を予測して書かれています。それから更に17年経った2017年、つまり30数年の時を経た未来予測がどれほどのものか? 《がん》の項目に注目すると「2000年ごろまでには現在のよ

うに“不治の病”ではなくなるだろう」という記述が印象的です。30数年前、がんは不治の病とされていたのでしょ。しかし今日、がんは不治ではなくなっている事実は実感できます。がん診療のさらなる進歩に期待しましょう。(T.I)



『西暦2000年そのとき日本は』(講談社、山本七平・柳田邦男編)